

交通事故の低減に向けた 関係諸団体との連携

Honda は、交通安全活動をされている関係諸団体や業界の方々とも積極的に連携を深め、交通事故の低減に向けて取り組んでいます。



パソコン用「SAFETY MAP」(画面はイメージ)。日本中を走る Honda インターナビ(双方向通信型のカーナビ)搭載車から通信で送られてくるデータをもとにした急ブレーキ多発地点情報をはじめ、事故多発エリア情報やゾーン30情報などを表示。パソコンやスマートフォンで自由に閲覧でき、自分が危険だと感じた場所に投稿することも可能。詳細は以下の Web ページを参照ください。
<https://safetymap.jp/>

「SAFETY MAP」の急ブレーキ多発地点を基に現場を確認し対策した実施例



警察、県庁、大学との連携

- | | |
|-------|--|
| 2016年 | 大阪府警察本部(協定締結)
長野県警察本部(協定締結) |
| 2017年 | 千葉県警察本部(協定締結)
警視庁(協定締結)
広島県庁(データ提供)
広島県警察本部(データ提供)
大阪市立大学(データ提供) |

交通事故未然防止に向けた 「SAFETY MAP」の活用

「SAFETY MAP」は運転者のみならず、歩行者・自転車利用者も含めたすべての交通参加者がパソコンやスマートフォンで自由に活用でき、皆様の声で作られていく安全マップです。また、個人の利用だけでなく、交通事故未然防止に活用する企業・団体も増えています。昨年の大阪府警察本部、長野県警察本部に続き、今年は千葉県警察本部、警視庁と交通事故防止対策の推進に関する協定を締結。

「SAFETY MAP」に表示されている急ブレーキ多発地点情報に関する詳細なデータを提供し、道路改善や安全教育の開催など交通事故未然防止に向けて相互に協力していくこととなりました。また、広島県庁や広島県警本部、大阪市立大学(兵庫県内データ)にも急ブレーキデータを提供し、事故情報と合わせて急ブレーキ情報を活用した多角的な事故分析に活用いただいています。

地域に根づいた 安全運転の 普及拡大のために

全国の自動車教習所教習指導員の皆様の自己研鑽への動機づけや交流の場の提供と、教習所の地域の交通教育センター化のサポートを目的に、本田技研工業(株)安全運転普及本部が主催し2001年に始めた「全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会」(後援:(一社)全日本指定自動車教習所協会連合会、本田技研工業(株)法人営業部)は今年17回目を迎えました。会場となった鈴鹿サーキット交通教育センターで、全国84校157名の教習指導員の皆様が2日間にわたり競技に取り組みました。また、この大会には、全国23校25名の教習指導員の皆様に審判員としてご協力いただき、ノウハウの提供も行っています。



第17回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会での二輪競技



第17回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会での四輪競技

二輪車関連団体 などの活動にも 積極的に協力

今年50回を迎えた(一財)全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会が主催する「二輪車安全運転全国大会」での審判業務や、1969年より警察庁が開催している「全国白バイ安全運転競技大会」でも審判業務や、車両整備などに協力しています。また、(一社)日本二輪車普及安全協会が開催する安全運転活動への各種協力や、(一社)日本自動車工業会が推進する高校生二輪車安全運転指導の地域定着に向けた活動などにも協力しています。



第50回二輪車安全運転全国大会の審判業務などに協力



第48回全国白バイ安全運転競技大会の審判業務などに協力